

異文化コミュニケーション研究科入学者受入れの方針

(アドミッション・ポリシー)

■博士課程前期課程

すでに高度な言語能力とともに幅広い知識と国際的教養を備えており、将来的に研究の分野において、あるいは実社会において、複眼的な視点から多文化共生社会の進展に貢献するために主体的に判断し行動することのできる人材を受け入れる。

これらを学生受け入れ方針の骨子として、本専攻では入学者の基準を次のように定める。

1. 異文化コミュニケーション研究、グローバル・コミュニケーション研究、言語コミュニケーション研究、通訳翻訳コミュニケーション研究の4領域及びその関連分野において学士課程修了レベルあるいはそれ以上の学習実績と能力を有する。
2. さらに、上記4領域およびその関連分野の研究者あるいは高度職業人として将来的に活躍できるために必要な、優れた言語運用力(外国語運用能力を含む)を有する。

■博士課程後期課程

本課程は、異文化コミュニケーション研究、グローバル・コミュニケーション研究、言語コミュニケーション研究、通訳翻訳コミュニケーション研究の4領域及びその関連分野における高い専門的知見を有し、専門とする領域において自律した研究者に相応しい能力を有しており、持続可能な未来へ向けて独創的な研究を行おうとする学生を受け入れる。